

財団シンボルマーク



平成12年度

アイヌ語ラジオ講座 テキスト

10月▶12月

Vol. 3

2000

●STVラジオ平成10年4月12日より放送中●

◆本放送

毎週日曜日 あさ 6:45～7:00

◇再放送

毎週土曜日 よる 23:00～23:15

財団法人 **アイヌ文化振興・研究推進機構**

講師のプロフィール



かた やま ひろ こ
片 山 弘 子

- 1951年 北海道勇払郡鵒川町に生まれる。
- 1983年 ウタリ生活相談員になり、同時に北海道ウタリ協会鵒川支部及び鵒川アイヌ文化伝承保存会に入会する。
このころから、アイヌ民族文化・アイヌ語にふれ、興味を持ち、その後、新井田セイノフチよりアイヌ語を教えてもらう。

協力者の紹介



あらい せい の
新井田 セイノ

- 1917年 北海道静内郡静内町に生まれる。
- 1919年 北海道勇払郡鵒川町へ移住。
- 1992年 鵒川アイヌ語教室講師となり、現在に至る。
- 1995年 北海道文化財保護功労者賞、鵒川町文化賞受賞

【鵒川アイヌ語教室の活動について】

鵒川アイヌ語教室は、年20回行っております。日程は伝承事業や他の行事の合間を見て決めています。

ム ペ ツ 館

〒054-0023 北海道勇払郡鵒川町末広町2丁目
TEL (01454) 2-5959

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	回	日	テ ー マ
10月	1	1日	自己紹介
	2	8日	シシャモ伝説
	3	15日	食べ物 ①
	4	22日	食べ物 ②
	5	29日	魚捕り
11月	6	5日	鵒川の踊り
	7	12日	フチのシノッチャ（ヤイサマ）
	8	19日	シシャモカムイノミ
	9	26日	女の手仕事
12月	10	3日	結婚
	11	10日	出産
	12	17日	病気
	13	24日	おまじない
	14	31日	イチャルパ

※アイヌ語には現在のところ共通語というものはなく、それぞれの地域で、それぞれの方言が学ばれているのが実情です。このテキストは、新井田セイノフチからお聞きしたアイヌ語をベースにしています。

Lesson	1	自己紹介
--------	---	------



今日のポイント

挨拶の仕方

カニ	アナクネ	ムカワ	ウン	メノコ	クネ	ワ、
kani	anakne	Mukawa	un	menoko	ku=ne	wa,
私	は	鵜川	の	女性	(私)であつて	
私は鵜川の女性で、						

カタヤマ	ヒロコ	セコロ	クレヘ	アン。
Katayama	Hiroko	sekor	ku=rehe	an.
片山	弘子	と	(私) の名前	ある
片山弘子という名前です。				

テワノ	アコロ	イタク	アエラムアン	クス
tewano	a=kor	itak	a=eramuan	kusu
これから	私たちの	言葉（を）	（私たち）覚える	ため
これから私達の言葉（アイヌ語）を覚えるために				

ウトゥラノ アリキキ アン ロ一。
uturano arikiki=an ro.
皆一緒に 一生懸命やり（私たち） ましょう。
一緒に一生懸命頑張りますよ。



；単語

- カニ (kani) [私]
- ウン (un) [～の、～出身の]
- レヘ (rehe) [の名前]
- アコロ (a=kor) [私達の、私達が持つ]
- エラムアン (eramuan) [覚える、～が分かる]
- アリキキ (arikiki) [一生懸命にやる、精を出す]
- アナクネ (anakne) [～は]
- メノコ (menoko) [女]
- テワノ (te'wano) [これから、今から]
- イタク (itak) [言葉]
- ウトゥラノ (uturano) [一緒に、連れ立って]
- ロ (ro) [～しよう]

解説

昔のアイヌの風習では、人の家を訪問する時は直接家の中に入りません。戸口の前で「エヘン」などと声を出し、来たことを知らせます。

ひさしぶりに会った女性同士の場合には、手を取り合って「フチ ヘー」「クサポ ヘー」などと言います。



鵜川の風景

MEMO

Lesson2シシャモ伝説

今日のポイント

シシャモ伝説

●カムイ ウタラ(kamuy utar)：神々

スプヤ アッ シリ クヌカラ カ ソモ キ。
supuya at siri ku=nukar ka somo ki.
煙 立つ 様子 (私たち) 見え も しない
煙が立っている様子が全然見えない。

マカナク ネ シリ ネ ヤ。
makanak ne siri ne ya.
どのように な の だろう か
どうしたのかな。

●アイヌ ウタラ(aynu utar)：人間たち

アエプ カ イサム。 アエプ クコン ルスイ。
aep ka isam. aep ku=kor rusuy.
食べ物 も ない 食べ物 (私) 持ち たい
食べ物が無い。 食べ物が欲しいな。

カムイ ウタラ ススハム アエプ ネ カラ ワ、
kamuy utar susuham aep ne kar wa,
神 たち 柳の葉(を) 食べ物 に 変え て
神々が柳の葉を食べ物に変えて、

アイヌ ウタラ カシ オピウキ。
aynu utar kasi opiwki.
人間 たち(を) 助けた
人々を助けた。

；単語

- スプヤ (supuya) [(煙)]
● シリ (siri) [様子]
● ソモ キ (somo ki) [～しない]
● ルスイ (rusuy) [～したい]
- アッ (at) [(煙)が立つ]
● ヌカラ (nukar) [～を見る、～が見える]
● マカナク (makanak) [どのように]
● カシ オピウキ (kasi opiwki) [助ける]

解説

シシャモ伝説とは、雷神の妹が、沙流川と鵒川の水源であるシシリムカ カムイ ヌプリに降りてみたところ、人間たちが食べ物が無くて困っている事が分かりました。そこで、天の神様に相談すると、神々は驚いて、人間を助けるために、フクロウの女神が魂を入れた柳の葉を鵒川に流しました。その葉が魚になり、人間たちは助かったという伝説です。



シシャモ伝説

MEMO

今日のポイント

ペカンペ（菱の実）について

タアンペ	ヘマンタ	アン?					
taanpe	hemanta	an?					
これ	何	です (か)					
これなあに。							
タアンペ	アナクネ	ペカンペ	ネ	ワ。			
taanpe	anakne	pekanpe	ne	wa.			
これ	は	菱の実	です	よ			
これは、菱の実だよ。							
ヒナクタ	アウク	ルウェ	ネ?	ト	オッタ	アウク	ワ。
hinakta	a=uk	ruwe	ne?	to	otta	a=uk	wa.
どこで	(私たち) 採る	の	です (か)	沼	で	(私たち) 採る	よ
どこで採るの。				沼で採るんだよ。			
マカナク	アウク	ハウエ	ネ?				
makanak	a=uk	hawe	ne?				
どうやって	(私たち) 採る	の	です (か)				
どうやって採るの。							
ポン	チプ	アオ	ワ	アウク	ルウェ	ネ。	
pon	cip	a=o	wa	a=uk	ruwe	ne.	
小	舟 (に)	(私たち) 乗っ	て	(私たち) 採る	の	です	
小舟に乗って採るんだよ。							

- 
；単語
- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ● ヒナクタ (hinakta) [どこで] | ● ウク (uk) [～をとる、～を得る] |
| ● ト (to) [沼] | ● オッタ (otta) [で、～の所で] |
| ● マカナク (makanak) [どのように、どう] | ● ポン (pon) [小さい] |
| ● チップ (cip) [舟] | ● オ (o) [乗る、こぐ] |

解 説

ペカンペはひし形の実で、秋になると沼に小さい舟を浮かべ、それに乗って採ります。

食べ方は、殻を割って中の実をそのままゆでて食べたり、ごはんにまぜたり、ラタシケブ（野草や野菜のまぜ煮）に入れて食べます。



ペカンペ

MEMO



今日のポイント

シシャモの捕り方

チェブ	アコイキ	クス	パイェアン	口。
cep	a=koyki	kusu	paye=an	ro.
魚を（私たち）捕り		に	行き（私たち）	ましょう
魚を捕りに行こう。				

マカナク	アカラ	ワ	アコイキ	ハウエ	ネ?
makanak	a=kar	wa	a=koyki	hawe	ne?
どう	(私たち) やっ	て	(私たち) 捕る	の	です (か)
どうやって捕るの。					

ウライ	アニ	アコイキ	プ	ネ	ワ。
uray	ani	a=koyki	p	ne	wa.
やな 梁	で	(私たち) 捕る	の	です	よ
梁で捕るんだよ。					

ヘマンタ	アコイキ	ハウエ	ネ?
hemanta	a=koyki	hawe	ne?
何を	(私たち) 捕る	の	です (か)
何を捕るの。			

スサム ネ ワ。
susam ne wa.
シシャモ です よ
シシャモだよ。



；単語

- チェプコイキ (cep koyki) [魚捕りをする] ● パイエ (paye) [(2人以上が) 行く]
● ウライ (uray) [やな] ● スサム (susam) [シシャモ]

解説

シシャモカムイノミを行った後、川を遡上するシシャモを梁^{やな}に追い込んで捕り、丸木舟で運び、川のそばに作ったシシャモ納屋で乾燥させて保存しました。

MEMO

●フッサヘロ

フッサヘー 口 フッサヘー 口 フッサヘー 口
hussahe ro hussahe ro hussahe ro

カン コワホー テレ ケ カン コワホー テレ ケ
kan kowaho ter ke kan kowaho ter ke

この歌は悪い病気を病人から払う様子を表した踊りだそうです。カンコ（kanko）は鳥の名で、フッサカル（hussakar）は病人を払うことだそうです。



フッサ



ヘロ



フッサ



ヘロ



ヘロ

●ツルの舞

ウェホル ルルルルルルル
we'horu rrrrrrrr

鶴の舞を表したもので、この踊りをハーラルキ（hararki）とも言うそうです。



ウェホ



ル



ルルルルルルル



ルルルルルルル

北海道教育庁生涯学習部文化課編
北海道文化財保護協会発行
『平成2年度 アイヌ古式舞踊調査報告書（Ⅰ）－白糠・新冠・鵲川－』より

MEMO

Lesson7フチのシノッチャ(ヤイサマ)

ヤイサマネーナ
yaysamanena,

ヤイサマネーナ
yaysamanena

ホレナ
horena

ホーレ
ho re

ホーレ
ho re

ホレナ
horena

カムイ
kumy

カ
ka

タップネ
tapne

モシリ
mosir

カラ
kar

ルウエ、
ruwe,

神様
神様

でも
でも

このように
このように

国（を）
国（を）

造った
造った

の（は）
の（は）

ウトウル
uturu

コッテネ
kotne

ウトウル
uturu

タナシ
tanash

ところどころ
ところどころ

窪んでいる
窪んでいる

ところどころ
ところどころ

突き出ている
突き出ている

クッカ
kupka

エンコレ
en=kore

クッカ
kupka

エンコレ
en=kore

すき
すき

鍬（を）
鍬（を）

（私に）下さい
（私に）下さい

鍬（を）
鍬（を）

（私に）下さい
（私に）下さい

キ
ki

ワ
wa

ネ
ne

ヤクネ
yakne

トアン
toan

ヌプリ
nupuri

クトクパトクパ
ku=tokpatokpa

クタウキタウキ
ku=tawkitawki

そ
so

う
u

し
shi

たら
tara

あの
ano

山
yama

（私）たたきほがす
（私）たたきほがす

（私）たたいて切りつける
（私）たたいて切りつける

キ
ki

ワ
wa

ネ
ne

ヤクネ
yakne

ヌプリ
nupuri

カ
ka

タ
ta

クヤン
ku=yan

チキ
ciki

ホレナ
horena

ホーレ
ho re

ホーレ
ho re

ホレナ
horena

そ
so

う
u

して
shite

たら
tara

山
yama

の上
no ue

に
ni

（私）上がった
（私）上がった

たら
tara

チカブ
cikap

タ
ta

クネ
ku=ne

レラ
rera

タ
ta

クネ
ku=ne

キ
ki

ワ
wa

ネ
ne

ヤクネ
yakne

鳥
tori

に
ni

（私）なる
（私）なる

風
kaze

に
ni

（私）なる
（私）なる

そ
so

う
u

し
shi

たら
tara

トゥ
tu

コタン
kotan

カマ、
kama,

2つの
2つの

村を
村を

またぐ
またぐ

レ
re

コタン
kotan

カマ
kama

クキ
ku=ki

ホプニ。
hopuni.

ホレナ
horena

ホーレ
ho re

ホーレ
ho re

ホレナ
horena

3つの
3つの

村を
村を

またぐ
またぐ

（私）する
（私）する

飛ぶ
飛ぶ

タパン
tapan

テ
te

オッタ
otta

クユポ
ku=yupo

トノ
tono

今
ima

ここ
koko

で
de

（私の）兄
（私の）兄

さま
sama

マカケ
makake

ヤイヌ
yaynu

セコロ
sekor

クヤイヌ
ku=yaynu

キ
ki

コロ、
kor,

どう思っているか
どう思っているか

と
to

（私）思
（私）思

う
u

と
to

トゥ
tu

ペケンヌペ
pekennupe

レ
re

ペケンヌペ
pekennupe

2つ
2つ

涙
なみだ

3つ
3つ

涙
なみだ

クヤイコランケ
ku=yaykoranke

（私）落とす
（私）落とす

クヤイコラプテ
ku=yaykorapute

（私）はらはらと落とす
（私）はらはらと落とす

ホレ
hore

ホレンナ
horena

解説

ヤイサマは即興歌で、その時の自分の気持ち（思い）を歌います。

和訳

神様だってこんなふう^{すき}に国を造ったんだが、川もあれば、山もある。鍬を下さい。鍬を下さい。そうしたらあの山をけずり掘ったり、たたいて切りつけたりする。そうして山の上まで上がったら、鳥になりたいなあ、風になりたいなあ。そうしたら2つの村を越え、3つの村を越えて私は飛んでいく。

今夜あたりお兄さんは何を思っているのかと思うと、私は2つの涙3つの涙をはらはらと流している。

 今日のポイント
アペヘコテカムイノミ
● 火の神へのお祈り

イレスカムイ	モシリコルチ	チランケピト	オリパクトラ	ネワネコロカ
人間を育てる神	国土を司る神	火の神様	遠慮と共に	ではありますが

シンリッ プリ	ウネロククス	アパセ ケウトム	コトキアニ	コパスイスイェ
先祖の風習	であったので	尊い御心に	私は杯を捧げ	捧酒箸を

クキ シリ ネ。
向けるのです。

ドキタサ パスイタサ チコホサリ ワ ウンコレヤン。
杯の方へ 捧酒箸の方へ 願をお向け くださいませ。

タネ アナクネ	シサムプリ	アエイカウヌ	ネヒオロタ
今日はもう	和人の風習	多く真似させられ	長い間

アイエ　ワ　ピリカブ	アイヌイタク	ネアコロカ	アバンテ　ルウェ
私どもが用いていた	アイヌ語で	あったけれども	すっかり薄められて

ネ ロク コロカ ネユンボカ アイヌブリ チキルスイ クス。
しまったけれど 何とかして アイヌの風習を 私共は復活させたいのです。

タバンペ	ネノ	アパセ	ケウドム	チコモソソ	ホシキ	ドキ	トノト	ピリカブ
そこでこのように	尊い御心を	目覚めさせ	最初の杯	おいしいお神酒を				

カムイ ケウトム クコオンカミブ ネ ルウェ ネ ナ。
位の高い神に 差し上げて いるのです。

チヤイコルシカ ワ アイヌウタラ ウタラ オピツタ
この杯をお受け下され アイヌ達 人々全部を

エプンキネ ワ **ウンコレヤン。**
お作りくださるよう **お願い申し上げます。**

テエタ　　クルネノ　　ネピタキ　　クイエ　　エニタンペ　　ソモ　　ネ　　コロカ
先祖たちのように　　アイヌ語を　　上手に言うことが　　できないけれど

ヘルクワンノ アパセ ケウドム モロ クコオンカミブ ネ ルウェ ネ ナ コンカミナー。
極簡単に 尊い神へ 私はお祈り 申し上げ 礼拝いたします。

(萱野 茂氏 提供)



シシャモカムイノミの様子



今日のポイント

女の子の仕事

ウナラペ ヘマンタ エカル コロ エアン シリ?
unarpe hemanta e=kar kor e=an siri?
おばさん 何(を) (あなた) 作っ て (あなた) いる の
おばさん何やってるの。

クカエカ	コロ	カン	ワ。
ku=kaeka	kor	k=an	wa.
(私) 糸を作っ	て	(私) いる	よ
糸を作っているんだよ。			

ネ カ アニ ヘマンタ エカラ?

ne ka ani hemanta e=kar?

その 糸 で 何 (あなた) 作る

その糸で何を作るの。

サラニブ	クカラ	ワ。
saranip	ku=kar	wa.
編かご	(私) 作る	よ
編かごを作るんだよ。		



；単語

- ウナラペ (unarpe) [おばさん] ● カル (kar) [作る]
● カエカ (ka'eka) [糸をよる (つむぐ)] ● サラニブ (saranip) [編かご]

解説

女の手仕事は、外で仕事のできない冬に主に行います。秋に採ったキナ（ガマ）でイテセ（ござ編み）をしたり、春に採った木の皮でカエカ（糸作り）をして、サラニブ（編みかご）を作ったりしていました。

MEMO

Lesson	10	結 婚
--------	----	-----



今日のポイント

結 婚

ヘマンタ	エカル	コロ	エアン?
hemanta	e=kar	kor	e=an?
何	(あなた) 作っ	て	(あなた) いる
何を作っているの。			

テクンペ	クカラ	コロ	カン	ワ。
tekunpe	ku=kar	kor	k=an	wa.
手甲	(私) 作っ	て	(私) いる	よ
手甲を作っているよ。				

タアンペ	アナクネ	オッカヨ	コロ	ペ	ネ。
taanpe	anakne	okkayo	kor	pe	ne.
これ	は	男が	持つ	物	だね
これは男の物だね。					

ヒネ ウン。
hine un.
そうだ よ
そうだよ。



；単語

- テクンペ (tekunpe) [手甲] ● タアンペ (taanpe) [これ]
● コロ (kor) [持つ] ● ペ (pe) [物]

解説

結婚は多く親同士の間で決められたが、仲人が決めたり、本人同士が好きで結婚する場合もありました。

愛を表すために好きな男には女からテクンペ（手甲）を作ってやり、男はマキリ（小刀）鞘を彫って女に贈ります。身につけていれば承知のしるしでした。



左：テクンペ
右：マキリ

MEMO



今日のポイント

鵜川の先祖供養

タント	イチャルパ	アン	ナ
tanto	icarpa	an	na
今日	先祖供養	する	よ
今日先祖供養するから			

クタリ	ウタラ	ウウェカラパ	ワ	エンコレ	ヤン。
k=utari	utar	uwekarpa	wa	en=kore	yan.
(私の) 同族の	人々	集っ	て	(私に) ください	
みんな集まってください。					

イチャルパ	オカケアン	ナ	アエブ	ポロンノ	イカシマ	ナ
icarpa	okake-an	na	aep	poronno	ikasma	na
先祖供養	終わった	よ	食べ物	たくさん	残った	よ
先祖供養が終わって、食べ物がたくさん残っているの						

クタリ	ウタラ	エイメク	ワ	ポロンノ	エ	ワ	エンコレ	ヤン。
k=utari	utar	eymek	wa	poronno	e	wa	en=kore	yan.
(私の) 同族の	人々	分ける	て	たくさん	食べる	て	(私に)	ください
みんなで分けてたくさん食べてください。								



; 単語

- タント (tanto) [今日]
- ウウェカラパ (uwekarpa) [集まる]
- エンコレ (en=kore) [ほしい]
- オカケアン (okake-an) [終わった]
- ポロンノ (poronno) [たくさん]
- エイメク (eymek) [分ける]
- クタリ ウタラ (k=utari utar)
[親せきの人たち、みんな]
- ヤン (yan) [～しなさい]
- アエブ (aep) [食べ物]
- イカシマ (ikasma) [残る]

鵜川のイチャルパは、イナウ（木幣）を1本立て、その部落で亡くなった一番偉いエカシの名前を言い、そのエカシに供物を託します。



イチャルパの様子

MEMO